

国際理解講座 アフガニスタン

タリバン-部族社会-イスラム教

～部族社会とムスリム社会の経験から～

参加者募集！

日時：5月24日（火）午後1時半～3時半

場所：コミュニティプラザ 会議室3、4

講師：岸 洋一さん

参加費：無料 定員：25名

申込み：協会まで電話、メールにて受付

タリバンはマドラッサという神学校から生まれ、略奪、部族抗争、不正や抑圧から人々を開放することを目的として行動を始めました。しかし、イスラムの教えを基本とした活動原理は、参加者の増加と共に、部族社会の旧弊に覆われました。



これにより、タリバンは、西欧社会のメディアから、オスマ・ビン・ラディンを保護し女性の権利をないがしろにするイスラム教徒集団とされています。

西欧諸国の現代社会常識とは異なる社会規範で生きる、タリバンを生んだムスリム部族社会の姿を、岸さんの部族社会での経験からお話していただきます。

～プロフィール～

昭和17年生まれ。東京に生まれ、高校卒業まで高知、その後北海道に24年。44歳から、東南アジアをはじめに、南アジア、中近東、アフリカの9か国で、JICA、アジア開発銀行、世界銀行などが資金援助する水資源の開発と利用、流域管理の分野の開発援助に77歳まで携わってきた。フィリピンの5年、パキスタンの12年は、主に地方都市に住み、農村や、山岳地帯の人々の生活の場で活動し、開発援助が人々の生活に及ぼす変化を見てきた。33年間の開発援助経験から思うこと、「持続的な開発援助とは、住む人・使う人が違和感なく受け入れられること」。



主催：摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35 コミュニティプラザ2階

TEL 06-6319-6251 FAX 06-6318-6004

Email: office@settsu-saie.org